

第7回電磁界観測による地震予知技術調査専門委員会  
第3回 自然災害の予測と監視のための電磁界技術調査専門委員会  
合同委員会議事録(案)

日時：平成18年6月29日 16:30～17:20

場所：東京・表参道・電気通信大学スカイオフィス

出席者：堀井委員長（大同工大）<sup>1)</sup>、畑幹事（中部大）<sup>1,2)</sup>、愛知幹事補佐（大同工大）<sup>1)</sup>、山中委員（大阪大学）<sup>1)</sup>、服部委員長（千葉大）<sup>2)</sup>、鈴木委員（航空自衛隊）<sup>2)</sup>、高野委員（JAXA）<sup>2)</sup>、後藤委員（JAMSTEC）<sup>2)</sup>、鷹野委員（千葉大）<sup>2)</sup>、筒井委員（京都産業大）<sup>1,2)</sup>、早川委員（電気通信大）<sup>1,2)</sup>、河崎委員（大阪大）<sup>2)</sup>、鴨川委員（学芸大）<sup>2)</sup>

1 電磁界観測による地震予知技術調査専門委員会、2 自然災害の予測と監視のための電磁界技術調査専門委員会

配布資料 第6回電磁界観測による地震予知技術調査専門委員会議事録(案)  
No.3-0 自然災害の予測と監視のための電磁界技術調査専門委員会議題  
No.3-1 平成19年電気学会全国大会 シンポジウム企画について  
No.3-2 平成18年電気学会A部門大会について  
No.3-3 平成19年1月A部門論文誌、英文論文特集号について  
No.3-4 気象学会報告(鈴木委員(防衛庁))

議事：

1. 平成19年電気学会全国大会のシンポジウム企画について

服部自然災害委員長より資料 No.3-1 に基づき、電気学会全国大会におけるシンポジウム企画について審議の結果、両委員会からは企画しないことになった。なお、平成20年全国大会については「調査専門委員会」(どちらの委員会でしょうか?)の終了年度であり、活動の総括としてシンポジウムを企画する予定であると堀井委員長から説明があった。

2. 平成18年A部門大会(平成18年8月20～21日 於熊本大学)について

資料 No.3-2 に基づき、自然災害の予測と監視のための電磁界技術調査専門委員会が企画しているテーマ付セッションについて、投稿状況が服部自然災害委員長より説明があった。6月28日現在で8名投稿を確認している(6月30日に熊本大学の幹事より、10件の投稿があったとの連絡あり)。九州地区の関係者にテーマ付セッションの参加をよびかけるように、委員各位からのよびかけの要請があった。

河崎委員より、平成19年度のA部門大会は大阪大学が幹事なので、シンポジウム等の企画をよろしくとの要請があった。

3. 原稿執筆について

服部委員長より資料 No.3-3 に基づき、平成19年1月号の英文特集号への投稿について説明があった。審議の結果、服部が最近の動向について1編投稿することとなった。

4. その他

・今後の委員会活動等について

今後の委員会活動について審議の結果、両委員会の合同開催が可能な場合は、連携して開催することが了承された。合同開催の委員会はオープンとすることも了承された。平成18年10月13日または14日に名古屋地区において2004年の中越地震にターゲットを絞った合同委員

会を開催することが了承された。また、同時に一般市民へのアウトリーチ活動も行うことが了承された。準備は堀井委員会で行うことになった。

報告：

1. 委員報告 気象学会報告 鈴木委員（防衛庁）  
資料 No.3-4 に基づいて気象学会の報告が行われた。

今後の委員会開催予定

平成18年8月20日または21日

第4回 自然災害の予測と監視のための電磁界技術調査専門委員会（於 熊本大学 A部  
門大会テーマ付セッション終了後）

平成18年10月13日または14日

第8回 電磁界観測による地震予知技術調査専門委員会および第5回自然災害の予測と  
監視のための電磁界技術調査専門委員会合同委員会（於 中部大学（予定））